

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	秦野精華園		
所在地	秦野市南矢名三丁目2番1号		
サイトURL	http://www.kyoudoukai.jp/hadano/		
根拠条例	神奈川県立の障害者支援施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条11項に規定する障害者支援施設		
指定管理者名	社会福祉法人かながわ共同会		
指定期間	H18. 4. 1～H29. 3. 31	施設所管課	障害サービス課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p>&lt;管理運営等の状況&gt; 就労支援においては法定雇用率の上昇という好条件もあり、就労実習19名（延べ224日）、就労7名の実績をあげた。</p> <p>&lt;利用状況&gt; 前年度比ではほぼ横ばいである。通所部門においては就労実績の向上と反対に定員が埋まらないといった状況が生じている。</p> <p>&lt;利用者の満足度&gt; 利用者向けにアンケートは行っているが、満足度調査という形では実施していない。利用者自治会・あおぞらプラン検討会で挙げられた要望に対し、対応を行っている。</p> <p>&lt;収支状況&gt; 収支のバランスは良好である。</p> <p>&lt;苦情・要望等&gt; 寄せられた苦情に対して、真摯に向き合い、受け止めるという姿勢で対応しており、大きな苦情につながるものはなかった。</p> <p>&lt;事故・不祥事等&gt; 事故再発防止に向け、原因の追究、再発防止策の検討等、組織的に取り組まれている。</p> <p>&lt;今後の方針等&gt; 引き続き、有期限利用の中で積極的に障害者の就労移行の推進を図る。平成29年度の民間移譲に向け、県と施設で調整を図っていく。</p>
<p>S：極めて良好な管理運営状況</p> <p>A：良好な管理運営状況</p> <p>B：一部改善が必要な管理運営状況</p> <p>C：抜本的な改善が必要</p>	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
随時モニタリング指導・改善勧告等の有無	有・ <b>無</b>	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
利用者の権利と尊厳を守り、安心して暮らせる環境の提供に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間をとおして、計画的に研修、職員の意識付け等、会議・委員会を中心に取り組んだ。特に利用者自治会への積極的な支援（利用者自治会改正選挙実施）と虐待防止委員会の定期的な実施は、具体的な成果と人権擁護の取組みとして位置づけ、継続的に取り組んだ。</li> <li>・利用者向けアンケートを定期的に行い（年2回）、利用者中心の支援を心がけた。</li> <li>・あおぞらプラン委員会にて、毎月の人権目標を設定し、朝の連絡簿に記載し周知した。</li> </ul>	
有期限施設として、利用者ニーズに合わせた特色ある支援（課題別支援）と個別支援計画両面での充実を図り、利用者の自己実現をさらに推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状診断会議を実施（初期23名、中期7名、終期19名）</li> <li>・利用者対象の勉強会を実施（交通安全、食事・喫煙マナー、ケイタイ安全教室）</li> <li>・発達障害、精神障害、ネグレクト等専門分野の研修各2回実施。SST（ソーシャルスキルトレーニング）研修を年3回実施。</li> </ul>	
日中支援事業体系の再構築を図るとともに、機能強化に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労準備プログラム、電卓計算やパソコン企業から求められる作業プログラムを開始した。</li> <li>・SST（ソーシャルスキルトレーニング）を13回実施。</li> <li>・新作業種として、さくらチップ作り、ウェス（油拭き用の使い捨て布）作りを導入した。</li> </ul>	
地域で生活する障害者への多角的なサポートを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3ホームが新第3ホームとして「カンカラ荘」として移転した。</li> <li>・園内にあった相談室「らぼーるせい か」を指定相談支援事業所「せい か」として秦野市本町に移転した。</li> <li>・地域のニーズに応え、行動援護事業の利用が大幅に増加した。</li> </ul>	
新会計基準導入により、就労支援事業をはじめ多会計にわたる処理を、適正な会計事務に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新会計基準では2つの拠点区分となり、秦野精華園拠点には9のサービス区分の事業、秦野地区拠点は13のサービス区分の事業構成となった。</li> <li>・2月に補正予算と27年度予算ヒアリングを行い、今年度の収入と支出の状況について、予算科目の整理や見直しを行い、27年度の予算へ反映した。</li> </ul>	

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の提案内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	《評価の目安》目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社 会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代 わりに定員数等を記載してください。
B	

	[参考] 直営/管理 委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	34,215	34,538	34,201	33,907
対前年度比			99.0%	99.1%
目標値	[目標値設定根拠]			
目標達成率				

[ 参考：最大利用可能人数 ]

	入所支援	生活介護	自立訓練	就労移行	短期入所	合計
定員	100	76	12	12	10	
年間利用可能日数	365	365	270	270	365	
最大人数※1	36,500	27,740	3,240	3,240	3,650	74,370
稼働率	%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)  
(指定期間前の状況は管理委託です。)

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」(上位二段階の評価)と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
—	※施設を利用する知的障害者の障害特性から4段階評価による満足度の評価は困難である。

満足度調査の 実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	利用者自治会の定期的開催	利用者自治会やおぞらプラン検討会を開 催、利用者向けアンケートを定期的に行い、 意見の聞き取りを行った。

実施した調査の配付方法 \_\_\_\_\_ 回収数/配付数 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ = \_\_\_\_\_

配付(サンプル)対象

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった 場合はその理由
総合満足度の 回答数						
回答率						
前年度の 回答数						
回答率の 対前年度比						

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[ 指定管理業務 ]

(単位：千円)

	[参考] 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
〔参考〕年度計画	727,249	733,747	751,646	794,915	その他収入は、「就労支援事業収入」、「経常経費寄附金収入」、「雑収入」、「積立資産取崩収入」等
指定管理料	204,271	198,244	199,683	200,031	
利用料	474,586	480,017	498,088	504,984	
その他収入	67,514	111,747	130,246	74,257	
合計	746,371	790,008	828,017	779,272	
対前年度比		105.8%	104.8%	94.1%	
対計画比	102.6%	107.7%	110.2%	98.0%	
(2) 支出					
〔参考〕年度計画	717,922	725,135	746,474	756,114	
支出額	731,866	725,744	990,175	729,485	
(内 納付金)	0	0	0	0	
対前年度比		99.2%	136.4%	73.7%	
対計画比	101.9%	100.1%	132.6%	96.5%	
(3) 収支					
〔参考〕年度計画	9,327	8,612	5,172	38,801	
収支差額	14,505	64,264	-162,158	49,787	
対前年度比		443.0%	-	-	
収入合計／支出合計の比率	102.0%	108.9%	83.6%	106.8%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※  の欄は記入不要。

[ 参考：県が支出した修繕工事費 ]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
平成26年6月	499	クリーニングボイラー煙突交換(499千円)
平成26年8月	227	厨房ファンモーター等交換(227千円)
平成27年2月	2,977	ボイラー室等扉交換(1,295千円)、管理棟内部壁等補修(561千円)、地下タンク油面計交換(623千円)、ミキシングバルブ交換(498千円)
平成27年3月	62,549	体育館等外壁改修(61,880千円)、自動火災報知設備交換(669千円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： \_\_\_\_\_ 円以上)

[ 参考：資本的な収入及び支出等の状況 ]

	金額(千円)	内容(金額)
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応	投書箱	4 件	女性非常勤が大きな声で怒ったような言い方をする。	女性非常勤に事実確認を実施。考えや思いもあるが、受け止めた利用者が不快な気持ちを持った事実を伝え、振り返りと今後の支援について指導する。
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等)
			②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
9月10日	生活1課寮西廊下にて、発作があり、前方に転倒し顔面を強打。左眉上部を深く裂傷し出血、大久保整形外科へ通院。患部6針縫合。	頭部保護のためのヘッドギアをきちんとかぶっていなかった。本人はポケットに手をいれていた。	①本人が装着できそうな補装具を医師等に相談し、検討しフルフェイスのヘッドギアを作成したが、本人かぶらず、状況に応じて、車いすを使用し安全確保を行っている。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。